

文化・芸術

「ショッピングモール」(部分)

2015年から、油彩、墨、水彩、カンバス
130.0cm×324.0cm



山口 晃 (1969年)

第36回移動大川美術館展
「桐生のアーティスト2025」
-Masters in KIRYU- から

日本の現代美術のトップランナー、そして「桐生ふるさと大使」「桐生市芸術大使」としても活躍されている山口晃さんの「ショッピングモール」。桐生市制施行100周年の2021年に桐生市に寄贈され、その後大川美術館に寄託されている作品です。

た楽しみではないでしょうか。

《名画の扉》

伝統的な日本美術の「浴衣外図」の様式を借り、自由な想像を織り交ぜながら、横3段を超える大画面に現代の桐生市の風景を俯瞰するように描いています。さまざまな時空間を示します。(佐藤)